

看護実習へ使命感、胸に刻む



火をともしたらうそくを手に宣誓する学生

八学大2年生59人宣誓式

八戸

八戸学院大(小林眞学長)の健康医療学部看護学科は9日、同大で第10回宣誓式を開き、基礎看護教育を終えた2年生59人が人の命に関わる使命感を胸に刻んだ。

宣誓式は、本格的な実習の開始を前に看護の専門性と責任を再確認する機会として、看護の日(5月12日)に合わせて毎年実施している。

式では2年生が1人ずつろうそくに火をともして整列し、信頼される看護師を目指す宣誓を行った。

小林学長は式辞で「高度

な医療技術を身に付けた看護従事者を目指すとともに、医療全体の進歩に役立てる探究心、研究心をも体得することを期待する」と激励。

宣誓者を代表し、四作美結さんが「一人一人の声を傾け、尊敬と権利を尊重できる看護師を目指す」と決意を示した。

式の後には、看護師の教育研修などを手がけるヴェクソンインターナショナル(東京) 上席執行役員の道又元裕さんが「『なりたいたい自分』に会いに行く旅、あなたの看護師像はどこにある?』と題して講演した。

(上條哲洋)